



月一だより

中央区立 月島第一小学校
令和元年 6月 NO.4 4 9

人を笑顔にする算数

校長 荒川 比呂美

喜ばしい雰囲気の中で改元を迎え、一ヶ月が経ちました。毎朝、玄関で子供たちの登校を迎えています。進んで「おはようございます。」とあいさつする子供たちの姿に、自然と笑顔になります。毎日、子供たちからパワーをもらって、「今日も一日、楽しもう！」という気持ちで一日をスタートさせています。

先日、久しぶりに学生時代の友人らと会い、近況報告をする中で「おもいやり算」という言葉を知りました。皆様はご存じでしょうか。人とのかかわりを、算数の四則計算[たす(+), ひく(-), かける(x), わる(÷)]になぞらえて表したもので、「人を笑顔にする算数」なんだそうです。

- たす(+)は、「たす」ける・・・助け合うと大きな力になる。
- ひく(-)は、「ひき」うける・・・引き受けると喜びが生まれる。
- かける(x)は、声を「かける」・・・声をかけるとひとつになれる。
- わる(÷)は、いた「わる」・・・労ると笑顔は返ってくる。

どれも、人を思う考えからのおもいやりの行動です。人は、自分がされた(傷つけられた)ことには敏感で、自分がしている(傷つけている)ことには、気づかないことが多いといわれています。「自分さえよければ」という考えではないにしろ、相手の立場や状況に考えが及ばなかったり、自分の思い通りに相手が動いてくれないと不満に感じたりしがちです。ですから、学校は、全ての教育活動を通じて子供たちに豊かな心を育てていく必要があります。本校の学校教育目標にある「思いやりをもち、助け合う子ども」の姿は、「おもいやり算」に共通しています。一人ひとりの心づかいが、「みんな笑顔」という大きな答えにつながると信じ、私たち教師も子供たちの手本となるような「おもいやり算」を実践していきたいと思っています。月一っ子たちの豊かな心の成長を一緒に育み、見守っていただければ幸いです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6月の生活目標

時間を大切にしましょう

体力調査について

体育主任 千葉 敏志

体力調査は握力・50m走・20mシャトルラン・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・立ち幅跳び・ソフトボール投げが調査項目となっています。

5月から校庭や体育館では、走る運動、投げる運動など、体力調査に向けて、盛んに練習が行われています。特に1年生は初めてなので、体力調査の仕方を十分に指導してから、本番に臨むようにしています。また、2年生以上の子供たちには、昨年自分と比べて記録が伸びるように声かけをしています。

ただ、体力調査はよい結果を残すことを目的とするのではなく、体力向上を目的としてほしいです。休み時間や放課後など、日頃から積極的に体を動かしていくことがとても重要になってきます。

月一園について

月一園担当 廣瀬 綾香

月島第一公園の中に、広い学校農園(月一園)があります。この農園は旧月島第一小のプールだった場所を改修し、農業体験活動ができるようにしたものです。月一園ではボランティアの方々に協力をいただき、全校児童・幼稚園児が野菜の栽培体験をしています。活動は年間を通して行われ、トマト、キュウリ、なす、ピーマン、大根など色々な野菜が無農薬で栽培されます。今年も5年生が、うね作りを行い、5月には1年生から6年生までが苗を植えました。このような農園を維持するためには土づくり、水やり、草取りなど、実に多くの手間を必要とします。たくさんの方の支えがあり、農業体験が行われています。協力者の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

